

役員人事異動と組織再編

NUMO 新理事長に近藤駿介氏が就任

原子力発電環境整備機構(NUMO)は一日付で、役員人事異動、組織再編を実施した。役員人事は、特定放射性廃棄物最終処分法に基づき、



経済産業相の認可を受け、理事長に前原子力委員長の近藤駿介氏、副理事長に元関西電力社長の藤洋作氏が就任したほか、五名の理事が交替、そのうち専務理事として前副理事長の西塔雅彦氏が当選した。

また、組織再編は、広報活動と立地活動を一体的に行うことにより、対話活動を着実に効果的に進めるため、「広報部」と「立地部」を統合し、「地域交流部」を設置、ガバナンス強化を図るため、「企画部」を「事業計画部」に改めるなどした。

近藤駿介氏(こんどう しゅんすけ)一九七〇年東京大学大学院工学系研究科修了。同工学部教授、原子力研究総合センター長などを歴任。通産省の総合エネルギー調査会委員などを務め、〇四年一月に原子力委員長就任(一四年三月、七十一歳)。

算については委員会の所掌事務を離れるが、現行法に基づき議論した。同方針案は、①福島第一原子力発電所周辺地域における取組②福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた中長期的取組③安全文化の確立と原子力発電の活用に必要な取組④高レベル放射性廃棄物

の最終処分に向けた取組⑤原子力研究開発の取組⑥原子力人材の確保・育成の取組⑦国際社会における責任ある一員としての取組一を列挙。委員からは、百年後も見据えた視野から原子力利用を考慮すべきことや「放射線利用」の言葉を入れたなど要望があった。

陸側凍土壁削孔進展

福島第一 4号機クレーン点検へ

資源エネルギー庁は六月二十七日、福島第一原子力発電所廃止措置の進捗状況を公表した。

同二日に掘削が開始された1号機を取り囲む凍土壁削孔は、五月二十一日より運用を開始した地下水パイプ

は、七回の排水を完了し、六月二十六日までに、合計八千六百三十五立方mを排水した。

交流協定締結

福井大

福井大学は六月十二日、ベトナムの教育訓練

省国際教育開発局と、同国政府が原子力人材育成の拠点に認定している電力大学との間に、それぞれ

省国際教育開発局と、同国政府が原子力人材育成の拠点に認定している電力大学との間に、それぞれ

省国際教育開発局と、同国政府が原子力人材育成の拠点に認定している電力大学との間に、それぞれ

省国際教育開発局と、同国政府が原子力人材育成の拠点に認定している電力大学との間に、それぞれ

「ドイツだからできる」

欧州と比較し エネ政策考えるシンポ

ドイツの脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本

の脱原発政策から問題を提起し、日本



シンポジウムではまず、作家でドイツに三十二年在住する作家の川口

シンポジウムではまず、作家でドイツに三十二年在住する作家の川口

シンポジウムではまず、作家でドイツに三十二年在住する作家の川口

シンポジウムではまず、作家でドイツに三十二年在住する作家の川口

シンポジウムではまず、作家でドイツに三十二年在住する作家の川口

原子力ワンポイント



広く利用されている放射線32

広く利用されている放射線32

広く利用されている放射線32

福島県住民への健康影響小さく検出不可

福島県は六月二十七日、福島第一原子力発電所事故後一年間の地域平均の実効線量および甲状腺吸収線量の推定値を発表した。

表1 事故後一年間の地域平均の実効線量および甲状腺吸収線量の推定値

居住地	実効線量 (mSv)		甲状腺吸収線量 (mGy)	
	成人	1歳児	成人	1歳児
福島県で避難が行われた地区	1.1~5.7	1.6~9.3	7.2~3.4	15~82
計画的避難区域(a)	4.8~9.3	7.1~13	16~35	47~83
福島県の避難区域域外	1.0~4.3	2.0~7.5	7.8~1.7	33~52
避難が行われなかった行政区画	0.2~1.4	0.3~2.5	0.6~5.1	2.7~15
宮城県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県、岩手県	0.1~0.3	0.2~0.5	0.5~0.9	2.6~3.3
日本のその他の県				

注記：福島でのγ線とβによる被ばくの場合にはGy≒Sv

福島県は六月二十七日、福島第一原子力発電所事故後一年間の地域平均の実効線量および甲状腺吸収線量の推定値を発表した。実効線量は数mSvから約10mSvの範囲であり、甲状腺吸収線量は成人で最大約三十五mGy、1歳児で最大約八十mGyと推定されました。

電力大学との調印式



電力大学との調印式

電力大学との調印式

電力大学との調印式

電力大学との調印式

電力大学との調印式